

岐阜医療科学大学

大学院 保健医療学研究科

Graduate School of Health and Medicine, Gifu University of Medical Science

GUIDE BOOK 2027

保健医療学研究科の概要

岐阜医療科学大学は、保健科学部（臨床検査学科、放射線技術学科）、看護学部（看護学科）、薬学部（薬学科）及び助産学専攻科を有し、高度な医療専門職を育成する高等教育機関として、優秀な臨床検査技師、診療放射線技師、看護師、保健師、薬剤師、助産師を養成しています。医療系4学科を有する強みを活かし学部全体でチーム医療に関する教育を行い医療現場で活躍できる人材を育成しています。現在の日本においては超高齢化・少子化社会が急速に進展しており、保健医療への対策は国の重要な施策の一つとなっています。特に、地域における在宅療養者や高齢者、母子保健医療に係る課題への対応は重要度が高く、これらの課題に柔軟に対応するためには、複数の医療専門職が連携してケアにあたるチーム医療の体制を整えていく必要があります。

チーム医療においては、他の医療専門職に関する専門知識や技術、また課題を理解することが重要です。そこで、本大学院では学部での教育を基盤とし、臨床検査技師、診療放射線技師、看護師、保健師または薬剤師それぞれの専門性を高めると共に、チーム医療におけるそれぞれの医療専門職の役割を理解し、より効果的に連携することができる力を養うことで、高い「実践力」、「リーダーシップ力」、「管理力」と、医療現場における「教育力」を備えた人材の育成を目標としました。

このため、本学では「臨床検査学分野」「放射線技術学分野」「看護学分野」のような、従来の大学院に設置されている分野ではなく、我が国の保健医療政策において大きな課題である「在宅」「高齢者」「母子」「医療連携」の4つに焦点を置き、それぞれの専門分野を設置しました。これらの専門分野における自らの職種の課題に取り組み、研究によってその職種の専門性を高めるとともに、他の医療専門職の技術や課題を理解しチーム医療における実践力を養います。

研究科・専攻・学位の名称

研究科	岐阜医療科学大学大学院保健医療学研究科 (Graduate School of Health and Medicine, Gifu University of Medical Science)
専攻	保健医療学専攻 修士課程 (Master Course of Health and Medicine)
学位	修士（保健医療学） (Master of Health and Medicine)

各専門分野の教育目標

① 在宅保健医療学分野

在宅で生活しているすべてのライフステージにおける人々の健康維持・増進、疾病治療に関して、臨床検査学、放射線技術学、看護学の幅広い分野の専門知識を高め、多職種連携で円滑に地域保健医療を推進できる、またはリーダーシップをとって活躍できる人材の育成。

② 高齢者保健医療学分野

高齢者の健康維持、増進を目標に、健常人の身体機能とその加齢に伴う変化、その評価方法を身に付けることで医療現場における問題点の客観的な抽出と評価、それらに基づいた高度な課題解決能力を有する人材の育成。

③ 母子保健医療学分野

妊娠・出産・育児に伴って生じる女性のメンタルヘルス、思春期や更年期女性の体の変化、乳幼児から思春期までの幅広い年齢の子どもの心身健康に関する専門知識を高めると同時に、課題解決のための研究方法を身につけることで、地域母子保健を推進できる、医療現場のチームリーダーとして活躍できる人材の育成。

④ 医療連携展開学分野

各種医療専門職が、チーム医療の立場から各専門分野の課題について共有することを基礎とし、その基礎の上で、医療連携における各専門課題の研究を行って、それぞれの高い専門性をチーム医療により発揮できる実践的リーダーの育成。

授業体制

授業時間割は土曜日を中心に、毎週木曜日1コマ（昼間又は夜間）を開講し、病院等に在職のまま入学を希望する社会人に対して、入学後も社会人が学びやすいように配慮します。

① 授業の実施方法

講義・演習時間は、原則として木曜日1コマ（昼間又は夜間）及び土曜日開講を設定しています。

① 授業の実施方法

土曜日 5 コマ	9：30～18：20
木曜日 1 コマ	昼間 9：30～18：20 の間の 1 コマ 又は 夜間 18：30～20：00 の 1 コマ

※なお、教員と学生の合意形成を基に、学生の便利な時間に講義・演習を設定し、実施計画を立てられるよう配慮します。

② 修業年限等

修業年限は2年です。（長期履習制度利用時は3年）



教育課程表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	
共通科目	保健医療学総論	1前	2			○		
	保健医療学研究方法論	1前	2			○		
	チーム医療展開学総論	1前	2			○		
	病態解析学	1前	2			○		
	医療倫理学	1前	1			○		
	危機管理学総論	1前	1			○		
	小計（6科目）	—	10	0	0	—		
専門科目	在宅保健医療学 分野科目	在宅保健医療学特論	1後		2		○	
		在宅保健医療学セミナー	2前		2		○	
		在宅保健医療学演習Ⅰ	1後～2前		4			○
		在宅保健医療学演習Ⅱ	1後～2前		4			○
		在宅保健医療学特別研究	1～2通		8			○
	高齢者保健医療学 分野科目	高齢者保健医療学特論	1後		2		○	
		高齢者保健医療学セミナー	2前		2		○	
		高齢者保健医療学演習Ⅰ	1後～2前		4			○
		高齢者保健医療学演習Ⅱ	1後～2前		4			○
		高齢者保健医療学特別研究	1～2通		8			○
	母子保健医療学 分野科目	母子保健医療学特論	1後		2		○	
		母子保健医療学セミナー	2前		2		○	
		母子保健医療学演習Ⅰ	1後～2前		4			○
		母子保健医療学演習Ⅱ	1後～2前		4			○
		母子保健医療学特別研究	1～2通		8			○
	医療連携展開学 分野科目	医療連携展開学特論	1後		2		○	
		医療連携展開学セミナー	2前		2		○	
		医療連携展開学演習Ⅰ	1後～2前		4			○
		医療連携展開学演習Ⅱ	1後～2前		4			○
		医療連携展開学特別研究	1～2通		8			○
小計（20科目）	—	0	80	0	—			
合計（26科目）	—	10	80	0	—			

修了要件及び履修方法

修了要件として、共通科目の必修科目10単位、専門科目の選択科目から20単位以上修得し（主に選択した分野の特論、セミナー、特別研究は必須とし、その分野の演習ⅠまたはⅡを修得すること。併せて、その他に1分野を選択し、特論とセミナーを修得すること。）、合計30単位以上修得すること。

また、本大学院の行う修士論文の審査に合格することとする。（履修科目の上限：22単位（年間））

研究概要一覽

本学では我が国の保健医療政策において大きな課題である「在宅」「高齢者」「母子」「医療連携」の4つに焦点を置き、それぞれの専門分野を設置しました。これらの専門分野における自らの職種の課題に取り組み、研究によってその職種の専門性を高めるとともに、他の医療専門職の技術や課題を理解しチーム医療における実践力を養います。



研究概要はこちらからご確認いただけます

担当教員一覽

成 順月 教授・研究科長



内野 聖子 教授
 榎田 雄大 教授
 北島 洋子 教授
 櫻井 智徳 教授
 篠原 範充 教授
 下郷 智弘 教授
 杉浦 浩子 教授
 田中 邦彦 教授
 仲井美由紀 教授

中村 浩二 教授
 中山 章文 教授
 丹羽 政美 教授
 三嶋 智之 教授
 水谷 さおり 教授
 道林 千賀子 教授
 薬袋 淳子 教授
 渡邊 恒夫 教授

北 章延 准教授
 杉浦 明弘 准教授
 中川 泰久 准教授
 永井 慎 准教授
 南 武志 准教授
 安田 成臣 准教授

本研究科を志望するみなさまへ

健康の維持増進、検査、治療といった共通の目的である『医療』に対し、様々な職種の医療人がその方法論をお互いに理解し、連帯責任を果たすことができなければチーム医療は成立しません。しかし日進月歩する医療技術を専門外の領域に至るまで全て理解することは困難です。本学の学部教育では、「保健科学」「看護学」「薬学」を医療技術の重要な基礎として、臨床検査、放射線技術、看護、薬の4つの領域で教育・研究を実践しています。この岐阜医療科学大学の特色を活かし、本大学院では、様々な医療分野の国家資格をお持ちの皆様が、応用科学である『保健医療学』において他職種の技術や知識への理解を深めながら、さらに御自身の専門性を高める機会を提供いたします。

大学卒業後すぐに進学し専門性を高めていく、あるいは、すでに医療の現場で実践されている中で専門性を高めていくことも可能なプログラムを用意しております。本大学院で専門分野として設定しています「在宅」、「高齢者」、「母子」、「医療連携」の各分野は、従来、看護学の専門分野として捉えられてきました。しかし本大学院では、これらを広く日本の保健医療における重要な課題として、医療専門職それぞれの立場から一体化して捉えることにしました。各専門職種の新しい技術や知識を身につけ実践していくのみならず、他職種理解から新しい技術を生み出す、あるいは得られた技術・知識を形に表すなど社会に還元する手段を身に付けていただきます。

地域や医療現場でのオピニオンリーダーとなるべく熱意ある方をお待ちしております。



岐阜医療科学大学
 GIFU UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE



大学院公式ホームページ：
<https://www.u-gifu-ms.ac.jp/graduate-school/>

関キャンパス

保健科学部
 臨床検査学科
 放射線技術学科
 大学院
 保健医療学研究科

〒501-3802 岐阜県関市市平賀字長峰795-1

可見キャンパス

看護学部
 看護学科
 薬学部
 薬学科
 助産学専攻科

〒509-0293 岐阜県可見市市虹ヶ丘4-3-3

お問い合わせは
 こちらへ



0574-65-6555 (代表)

受付 | 平日
 9:00~17:00



gmnyu@u-gifu-ms.ac.jp